

私の友人で、イギリスに住んでいる人からの情報です。
貴重な体験談なので、友人の許可のもとに、シェアします。

坂本夏子

2020.4.3

コロナに感染した親しい友人の記録です。本人には許可を取っています。これがイギリスの現状です。ちょっと長いですが、読んでみてください。
まずは感染した友人の話から。

友人編

3月11日 夜9時ころ、突然声が出にくくなる。痛みも、イガイガ感もなく、あれ？タンでも絡んでる？？ 咳をしても何も出てこない。

以前声帯が炎症を起こして声が出なかったが、あの時も痛みはなかった。前日が夜勤明けでまだ疲れが残ってる？ちょっと早めに就寝しよう。。11時過ぎに床に入る。

3月12日 夜中過ぎ、多分2時頃。いきなり寒気が襲ってきて、体がガタガタ震える。これは発熱しているかも？っと飛び

[ここに入力]

起き、大学寮に引っ越した娘の部屋に移動。そのまま眠る。

3月12日 朝、体温計で熱を測る。38.2℃ 今夜は夜勤、でも発熱があるから職場に電話して勤務できない旨連絡。そのまま眠りに落ちる。

目が覚めた時は午後近く、何も口にしていない。熱を測ると39.1℃

慌ててボトルの水を階下からゲット、水分補給する。水がなぜが苦く感じられる。

この日からの症状はあまり変化ありません、発熱、食欲不振、なぜか水分も摂取できない。そして、15日になり軽い咳が出るようになる。

心なしか息を吸うと、喉すぐ下あたり、肺の上部にかすかな張りのような、息苦しさを覚える。息を吸い込もうとすると、空咳が出てしまう。

解熱剤を飲むと熱は下がるが、水分を摂取できない。2リットルのボトルを終わらせるのに2日半かかった。うどんを半玉、うどんの汁がおいしく感じられない。リンゴ、バナナ、オレンジはおいしく感じられた。食欲がわからないので、このころからマルチビタミンを摂取する。部屋の窓は開けて、喚起に心掛ける。

[ここに入力]

こんな状態が約 10 日続き、23 日朝いきなり重く垂れこめた霧から抜け出した感覚を覚えた。解熱剤がなくとも 38°C を切っていた。英では 37.8°C 以下が 48 時間続けば勤務できるとされているが、日本人でこの体温はかなりきつい。また、発熱は朝より午後一夜に高くなる傾向があった。

私には筋肉痛、頭痛はなかった。匂いは意識していなかったが、果物は認識できていたと思う。味覚も果物はおk、でも水は苦かった…。

こんなところです。まずは喉の異変からでした。皆さんもお気を付けください。

現在医療関係者のテストは、ロンドン北部のイケアでドライブスルー形式でお始めました。私も検査受けたかった…今となつては遅すぎるのですが…。

[ここに入力]

ご主人編

夫は長年の喫煙がたたり、肺の組織がかなりダメージを受けていました。2012年に心臓のダブル・バイパス手術以来禁煙していましたが、2016年に肺嚢胞が破れ気胸の併発、手術を施しています。が、肺の機能は著しく低下しており、歩行も長時間できなくなっていました。

新型肺炎には私が先に発症し、即座に開いている部屋で隔離をしました。39℃を越す高熱ののち、38℃台が12日から約10日間続きました。

レイは数日遅れて不調を自覚したようですが、夜少し熱がある？くらいで翌朝には全く正常になるを数日繰り返していました。呼吸に問題がないところから、私も油断していました。今を思えば自身に高熱があり、よくよくレイの体調を診ることが出来ていませんでした

やっと熱が下がり、体が軽くなったと認識したのが23日の朝。

居間に行くとレイがリクライニングチェアで具合悪そうにしています。英のガイドラインに従って所定の電話に掛けるも、なかなか繋がらない。やっとつながっても、医師から折り返し電

[ここに入力]

話させるリストに入れておくとの事。

その後本人に救急車を呼ぼうかと確認するも、電話を待ちたいと。。。

朝 10 時から午後になっても何の音さたがない、ところが本人が今は非常事態だから仕方がない。待つと...

水分が取れないレイはトイレにもいっていない。尿が排出されないのは、非常によくないサイン。水分補給を何度も促し、ようやく水分を取って、3 時ごろトイレに行くも会談で息が上がってしまい動けなくなった。ここで要約救急車に連絡する。これが夜の 7 時近く。しかし電話が繋がらない。15 分くらいして、ようやくつながるも、最低でもい時間かかると告げられる。

その後 1 時間くらい階段から動けなくなったレイだが、ようやく自力でリクライニングまで移動した。この時点で一分間の呼吸数がかかなり上がっており、酸素濃度を確認するもなかなか機会が読みだせない。。。その後 3 時間待つが、若干の意識レベルの演歌が見られたので、再度救急車を呼ぶべく連絡。意識レベルの変更と呼吸数の上昇を訴え、至急派遣してもらえ

[ここに入力]

るように依頼

やっと救急車が来た時には既に夜の 10 時近くになっていた。私はまだ 14 日間の自宅静養中でもあり、例の症状が新型コロナウイルスだと思われるため救急車には同行できない。そのまま息子と自宅待機。

翌朝 6 時過ぎ、病院の医師から電話が入った。レイの肺の状況がよくない。人工呼吸器をつけると、二度と自発呼吸が望めない可能性が高い。ゆえに人工呼吸器はつけないので、ICU,HDU での治療は行えない。非常に危険な状況であると。その後レイ本人からメッセがきて、心肺停止の際は蘇生しない事に同意したと。

その日 24 日の午後、また別の医師から電話あり、高濃度マスク CPAP を使ってみたが、本人が耐えられない状況であると。これは予想がつく、CPAP はかなり苦しいから。ゆえに残された選択は Max の酸素を供給するのみであると。

[ここに入力]

私は病院にいける方法を探るべく、担当部署に連絡するもこちらも電話が繋がらず自宅で待機。その後私の病棟の師長が厳コロナ対策の長上で、私の夫であることに気づき、すぐに連絡をくれたためまず一人で会いに行った。その時医師に告げられたのは、エンド オフ ライフのケアを開始したと。これは病院内における緩和ケアで、積極的治療を行わないことになる。

友人の助けを借りて、大学に居る娘を家に呼び寄せ子供たちを連れて病院へ面会に。私は長上からの指示で病棟への立ち入りは 24 時間自由。子供たちは病棟の周りに作られたガラスの回廊からレイを見舞うことが許されていた。

その後 2 時近くに病院から電話があり、心肺停止と。子供たちとすぐに病院へ駆けつける。私のみ PPE をつけて最後の面談の時間があった。子供たちは回廊からお別れをすることが出来たが、娘は最後の対面を拒否、逃走。息子のみガラスの窓越しに対面。

[ここに入力]

現在私はまだ自宅で忌引き扱いです。四月に一週間の有給を取得しているのですが、その後職場復帰しようと考えています。

さて、何故ここまで長々と書いてきたかというと、自身の悔恨と悲しみを癒すため。そして、早期にコロナ対策が出来たために、危機感がない日本の若者たちに伝えてほしいのです。この病気は自分が大丈夫だからと言って、普段通りの生活をすべきではないと。周りの持病を持っている人、年配者、持病のない喫煙者、かなり危険な病気です。是非喫煙してください。煙草で痛めつけられた肺では、この病気と闘えません。それを伝えてほしいのです。

現在のイギリスでは様々な超法規的処置がとられています。死亡診断書—実際に治療にあたっていない、最後を確認できない医師が担当者に確認できれば書類を作成できる。つまり現状死亡診断書専任の医師が常駐している。

各地のイベントホールが病院としての設備を搬入。ロンドンで

[ここに入力]

は長さ一キロあるイベントホールに4~5000のベッドを搬入。引退した医師、看護師、看護学生、医者の卵も投入される。各エアラインのCAもサポートとして入るように打診されている。

各地で臨時の霊安室が急ピッチで建設されている。スペインではアイスリンクを臨時霊安室として利用している。

幾ら人工呼吸器があっても、それを的確に管理、モニターする人がいなければ稼働できない。うちの病院ではICUの看護師は余分なシフトに入ると、通常の割り増し時給+一回毎に¥100支払われるが、それでも人が足りない。

ある病院では外科部長クラスの外科医が、自ら進んでICUの看護師のシフトに入っている。彼曰くここが最前線だからと...既に3人の医師が亡くなっている。何故ならば適切なPPE(エプロン、手袋等身を守る必要不可欠な装備不足による感染からと思われる。

私の勤務する病院は、早期の段階でコロナ患者を受け入れており、最前線で治療にあっている。今は半分以上の病棟がコロナ病棟として利用されて

[ここに入力]

いる。私の病棟は特殊性のある外科病棟で、現在患者が少ない。ゆえに他の病棟の応援に駆り出されている。

私たちはある意味幸運だった。きちんとした個室で、家族とも最後の面会も許され、病院の身内としてきちんと最後まで面倒を見てもらえた...これから入院する人たちは、野戦病院のような状況で、一切の面会も許されず亡くなる方も出てくるかもしれない。最後の対面も、特定病棟でない限り、一人しか会えない...なぜならば患者の家族を守らねばならないから...。

正直息子を置いて職場復帰するのは、後ろ髪惹かれる思いです。でも、いつまでも籠ってはいられない。皆戦っている。数日前から息子と朝の散歩を始めました。一日一回の運動は許されるので、近くの公園へゆっくり歩きます。病気の間10日間で5キロ痩せました。今は着実に体重を増やしつつあります。体力を戻して、現場復帰に備えています。

ご心配をおかけしましたが、何とか毎日に向き合ってます。ただ、役所も保険会社も出社を差

[ここに入力]

し控えているので、電話が繋がらなかつたり、本来できる事が出来なかつたりと不自由はあります。でも、これは急ぎの案件だけ取り組んで、後はゆっくり片付けていきます。

最後に皆さん、お願いします。若者たちには家に籠ってほしい。元気な老人たちも一日一回程度の運動以外、人と接近しない、出かけないように伝えてください。今の日本は英国と同じように、誰が菌を持っているかわからない状況です。手洗いを徹底し、その後必ずクリームで保湿してください。肌が荒れると菌の侵入を許します。

-----以上

[ここに入力]